

財務の概要

施設整備の主な整備状況

社福学部

構築物	919,872円	看板・駐車場照明設備工事
教育研究用機器備品	2,497,660円	映像配信スタジオセット・パソコン他
管理用機器備品	370,216円	机椅子・バックパネル他
図書	1,067,568円	蔵書

大学院

教育研究用機器備品	8,052円	看板工事
図書	28,970円	蔵書

短期大学部

教育研究用機器備品	104,676円	看板工事
図書	385,511円	蔵書

看護学部

構築物	800,000円	駐車場照明設備工事
教育研究用機器備品	2,190,760円	映像配信スタジオセット・机椅子
ソフトウェア	269,500円	
図書	115,725円	蔵書

リハビリテーション学部

教育研究用機器備品	2,771,376円	映像配信スタジオセット・パソコン他
図書	37,195円	蔵書

法人

建物	1,086,416,000円	新学部校舎新築工事
構築物		
教育研究用機器備品	599,390,000円	新学部機械器具設備他
管理用機器備品	620,000円	絨毯他
図書	13,300,000円	新学部蔵書

公認会計士と監事の監査報告並びに財務計算書の資金収支計算書と経年推移・活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書と経年推移・貸借対照表と経年推移・事業活動収支関係比率経年推移・貸借対照表関係比率経年推移は別掲のとおりである。また令和2年度の財務概要としての施設整備状況は前記のとおりである。特に今年度は大学部門において新学部（医療技術学部）を新設申請し、次年度4月より開校が認可され、新学部の校地・校舎建築・設備・図書の設置経費当年度分を計上した。当設置経費は全額自己資金による財源のため全額基本金組入も計上したことに伴い当期収支差額・翌年度繰越収支差額は大きく支出超過となっているが、新学部の完成年度に向けて改善の計画を図っているところである。学生学習環境改善としては各大学部門に授業映像配信用スタジオセット等を整備して新型コロナ禍における授業の円滑化を

進めた。学生定員確保においては社会福祉学部、短期大学・専門学校は引き続き社会的現状から難しい運営が続いているがリハビリテーション学部・看護学部・認定こども園はともに今年度も入学定員・収容定員を堅調に充足しているので今後においても学生・園児確保は十分に見込まれる。また、学生生徒等納付金収入は前期と比較し1.7%程度の減額の決算額であるが次年度は大学新学部が開校となるので新たな運営体制に移行していくことになる。財務運営経年推移を踏まえ、学生生徒に対する教育的還元は当面収支バランスを維持しながら充実向上が図られてきているが、今年度は新学部開校前経費と新型コロナ対策における多額な学生支援を実施したことから経常収支差額比率がマイナスの比率になった。この厳しい社会状況に適切な対応を講じながらも運営整備資金的には当分外部借入金等に頼ることなく自己資金で資金計画を組み立て健全な財政運営を持続していく方針である。さらに次年度以降においても財務状況は良好に維持できるよう努力しなければならないところである。そして今後も大学法人としての教育研究目的を順当に達成するため必要な財政基盤をしっかりと確保し、継続的に収支バランスのとれた運営を目指して行く方針である。

財務運営の状況として5ヶ年経年推移を表・棒グラフにして別掲し、事業活動収支計算書関係・貸借対照表関係の財務比率をより分かり易くするため各区分比率の意味をも掲載している。